

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 子育て支援センター運営事業	
区分	番号	名称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	1	安心して子どもを産み育てられるまちをつくる	
施策	1	子育ての不安と負担の軽減	
小分類	1	地域での子育て支援	
主要な施策	1	子育て支援センターの整備・充実	
事務事業番号	001	事務事業コード 11111001	事業開始年度 昭和 1 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度
会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名 子育て支援センター運営事業	
部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 就学前の乳幼児とその保護者を対象に子育てに関する情報の場を提供し支援する。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 週3日(月・水・金)をセンター開放日、週2日(火・木)を行事日に設定し、子育てに関する相談全般や遊びなどの指導を、中央子育て支援センターと登別子育て支援センターの2か所で実施する。 育児相談件数：215件(中央169件、登別46件) センター開放日利用者数：9,612人(中央5,363人、登別4,249人) 子育て講座参加者数：379人(中央149人、登別230人) あそびの紹介参加者数：772人(中央316人、登別456人) 保育所開放参加者数：395人(5保育所) 父親開放参加者数：126人(登別のみ実施) 移動子育て支援センター参加者数：569人(若草放課後児童クラブ246人、鷺別公民館323人) その他(育児サークル支援、おにたま文庫貸出、各種情報紙発行) 人数は、親子の合計で、延べ人数を表します。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 保護者の育児不安の解消を図るとともに、親子のふれあいや親子同士の交流の場を提供することで子育て家庭の支援を図っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) ・登別市子育て支援センター条例

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	子育て支援センター設置数	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2				
	開放日利用者数	目標値	11,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		実績値	9,612				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称 次世代育成支援対策交付金	千円	5,002	5,331	8,380	8,380	8,380	25,140
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	3,219	3,048				0
合 計				8,221	8,379	8,380	8,380	8,380	25,140
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	13,427	18,012			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	2,577	1,149			
			合 計		16,004	19,161			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、北海道の補助事業（間接）であり、子育て支援の施策には欠かせない。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 開放日をはじめ各種催し物の利用が年々増加しており、特に育児相談が前年比約6割と大幅に増加しているため。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 現在、設置済みの支援センターは幌別地区と登別地区の2か所だが、施設規模などからこれ以上の利用拡大は難しい。財政的な問題があるものの富岸から鷲別方面に最低1か所を新設することで、成果の向上が可能と考える
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 当該事業費は、物件費のみで構成されているが必要最小限に留めているので削減は難しい。また、総事業費の大部分を占める人件費も同様だが、単に金額的な問題で捉えるなら業務委託等の推進により多少なりとも効果は得られると考える

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	近年は、少子化等で核家族化が顕著に進行しており、これに伴い保護者の育児力の低下が指摘されています。また、相談相手がいないため母親が孤立し、虐待に繋がるケースもあることから、本事業は家庭内保育者向けの子育て支援策として、引き続き、必要な事業であるとともに、未設置地区の鷲別方面への新設を検討すべきと考えます。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）